



# 未来の十勝農業の 課題を先延ばしするな!

## 自らのお客様は誰か?に 畑から応える実践事例

農場らしさ、地域らしさ、自分らしさの強みを生かす経営



前田農産食品株式会社  
代表取締役 前田 茂雄



日時 2022年3月24日木  
18:30~21:00

受付 18:00~ 参加無料

会場 メルパルク京都 スタジオ1  
京都市下京区東塩小路町676番13 TEL. 075-352-7444

農業は食文化になれば生き残る。でも、本当に地元の人が食べる循環があるか? 農と食と情報発信で地域農業のファンを創りましょう! 顧客の創造は人との交流からしか生まれません。

苦しい、でも楽しい! やるしかない! という開拓精神がある十勝人が拓ける道だと信じて。



私齡	西暦	同友会から学んだアクション
33	2008	確か入会・2011年まで幽霊会員:例会で大野さんの“農業は物語がある!”にホント?
34	2009	JA青年部長2期チーム率いる難しさとTPP国際感覚のズレ。農家のお客様ってそもそも誰?小麦粉販売
35	2010	農経収穫感謝祭でお祭り男たちにビックリ!食文化づくりの重要性感じる。
36	2011	2009~十勝ベーカリーキャンプ、マンネリ感。パン屋との連携深まる。小麦粉徐々に売れる。
37	2012	小麦畑にミステリーサークル。農経部会に本格参加。格言“知られてないのは売っていないのと一緒に!”
38	2013	小麦畑にアンパンマン・トーストアートでギネスブック。新入社員研修参加。ポップコーン栽培
39	2014	農経:GAP・HACCP勉強会、ナフィールド国際農業奨学生制度と出会い。
40	2015	国内2番目GGAP取得、新麦コレクション参画し全国のパン屋と繋がり。
41	2016	国内初レンチン北海道十勝ポップコーン販売開始→ファン&食文化つくり開始
42	2017	農経部会長2期目、前社長他界。PC知事賞受賞。北海道HACCP取得。 TPP締結決定!小麦関税252%→140%(2025年)→未来は付加価値化と顧客つくりはある意味正解。
43	2018	経営指針研究会参加。JICA受け入れ
44	2019	農経→全道農業関連部会交流会、食農連携機構理事、一般社団法人ナフィールドジャパン創立
45	2020	経営指針研究会資料いかし、北海道フード塾、経営革新書作成。
46	2021	副幹事長。3月地区会交流会。コロナ禍オンライン商談会に商機。PC新フレーバー大学と共同開発。

### プロフィール

昭和49年生まれ。本別高校、東京農業大学農業経済学部卒業後、米国大学にて農業経営・流通を学び多くのアメリカ農家との出会い大規模農業実習を体感。2000年に実家の前田農産食品合資会社に就農。120haで小麦5品種、甜菜、ポップコーン、ひまわり栽培。農閑期=付加価値創造期間とし、付加価値型経営を目指す。経営理念は「私たちはお客様と共に種をまき、共に育ちワクワク感動農業を実践します」役員3、社員5名、パート6名。入植後120年、蓄積された先人の「勘」や「経験」→土壤分析に基づく施肥設計、GGAP実践から工程管理情報を残し、100年後も足跡感じる農業を実践中。2009年~「農十勝ベーカリーキャンプ、新麦コレクション、農経収穫感謝祭など参画し農業のファン作りに励む。また季節変動性ある農業収入の多角化と雇用平準化、新畑作輪作体系確立に、ポップコーン栽培開始、2016年~国産初の電子レンジ専用の“北海道十勝ポップコーン”を商品化。2019年~ほんべひまわり迷路を開催、関係人口と経済循環を創り持続可能な社会を目指す。